

# 令和6年度 学校経営の方針

## 1 学校教育目標

(1) 明るく (知育) (2) 豊かに (徳育) (3) たくましく (体育)

はぐくみたい学力 (知育)	はぐくみたい情操 (徳育)	はぐくみたい体力 (体育)
① 知識・技能	① 自己肯定感	① 健康の自己管理
② 思考力・判断力・表現力等	② 相互承認	② 体力や気力
③ 主体的に学習に取り組む態度	③ 美的・心情的感性	③ 創造性・チャレンジ精神

## 2 教育理念

「自他共愛」(自分自身も、他の人も、お互いに大切に生きていこう)

## 3 目指す学校像

- 生徒、保護者、地域の方々から信頼され、安全・安心な学校
- 生徒が学ぶ喜びを味わい、生きる喜びを実感する教育活動を展開する学校

## 4 目指す生徒像

- 夢や希望をもち、自ら進んで行動し、自分の力で自分を高められる生徒

## 5 学校経営方針

- (1) 「全生徒・教職員の Well-being (幸せ)」を目指す学校づくりと心理的安全性の確保
- (2) 「生徒の自立・自律」を目指した授業改善及び支援体制づくり
- (3) 「ワクワクする学びの場」を目指した、環境づくり・場面づくり
- (4) 「生徒が地域の形成者」を目指した地域貢献・ボランティア精神の醸成
- (5) 「春野コミュニティ・スクール」を核に、家庭や地域社会との連携強化
- (6) 「先生が健康で生き生き」と働ける労働環境づくり

## 6 重点目標

- (1) 「全生徒・教職員の Well-being (幸せ)」では、人間性を育む望ましい居場所 (ホームベース) づくりと心理的安全性を確保する。そのために、管理職の指導による教職員の心理的安全性の確保。教職員の指導による生徒や保護者への心理的安全性の確保。生徒・保護者・教職員それぞれが孤立化しないような体制づくりを、チームワークでつくりあげていく。
- (2) 「生徒の自立・自律」では、生徒の自己肯定感を醸成し、自分で考え、動く力を育成する。そのために、問題を発見する力、課題を解決する力、多様性を相互承認できる力 (自他共愛) を育てていく。

また、「自律」とは、互いが適切に依存しあうことと捉え、意図的に機会や場面を与え、見通しをもって「自律」できる生徒を育成していく。

- (3)「わくわくする学びの場」では、これまでの校内研修の成果を踏まえ、「個別最適な学び」「主体的・対話的で深い学び」を意識し、「自律」した学習者を育成する（自由進度学習への挑戦）。そのために、研修意識の向上、自己研鑽、教材研究等を進め、よりよい授業を目指していく。
- また、知識・技能では「理解」と「定着」を区別して捉え、確実な定着を目指していく。
- (4)「生徒が地域の形成者」では、春野中生がこの地域を大切なふるさと実感していく生徒を育成する。そのために、PTAや地域との連携、ボランティア活動、地域貢献等を充実させていく。また、総合的な学習の時間等で地域における問題発見・課題解決等を行う学習内容の検討を進める。
- (5)「春野コミュニティ・スクール」では、学校からの情報提供（学校だより、学校HP、学校安心メール等）や行事・授業等の積極的な公開を行い、学校・家庭・地域との連携を深める。そのために、学校運営協議会を核に、学校運営に関する熟議や意見を通してよりよい教育課程を編成し、風通しの良い学校運営を実現させていく。
- (6)「先生が健康で生き生き」では、温かい職員室、良好な教職員関係を継続できるようにする。そのために、心理的安全性を確保された環境の中、授業や学年・学級経営、校務分掌等自分の役割を存分に発揮できるような労働環境を整えていく。また、業務改善を確実に進め、時間や業務などの量的な削減・改善を図り、ゆとりがもてるよう具体的な方策を検討し実現をしていく。